

普及活動情勢報告（令和 2 年 4 月分）

中央西農業振興センター高知農業改良普及所

水稻実証ほを設置しました！ ～奨励品種決定試験～

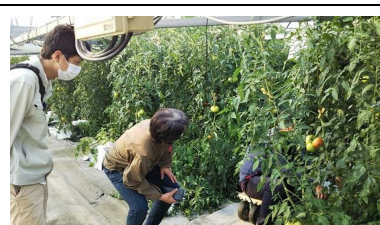


田植えの様子

4月7日、高知普及所およびJA高知市職員ら計8名参加のもと、高知市における奨励品種決定試験実証ほの設置を行いました。現奨励品種‘よさ恋美人’‘南国そだち’に加え、候補として‘つきあかり’‘高育79号’の移植を行いました。参加者からは「品種特性が気になる」「今年は気温が高いので注意が要る」等の意見があり、今後の生育を注意深く追っていきます。

本実証ほの試験結果は、7月の現地検討会や、11月からの地区別栽培講習会で報告する予定です。普及所では、今後も水稻の安定生産技術の確立と普及推進に取り組んでいきます。

福祉サービス事業所にトマト作業を ～農福連携マッチング～



トマト法人の職員による
摘葉作業の実演

4月9日、普及所は高知市春野町において、農福連携のマッチングを行いました。ある福祉サービス事業所が施設外就労先として初めて農業現場を計画され、その相談を受けたため、受入先としてトマト法人を紹介しました。当日は作業内容等の説明を受けた後、また日を改めて施設利用者を伴い体験に来られることになりました。

普及所は高知市農福連携研究会の事務局として、農福連携事例を増やすことを目標に、活動を推進していきます。

新たな研修生受入に向けて ～指導農業士と面接～



研修生の面接

4月10日、JA高知県春野営農経済センターにて、高知県春野胡瓜部会での新たな農家研修希望者の面接を指導農業士4名と行いました。お試し研修の体験を踏まえ、就農の抱負や意欲について聞き取りをし、産地での受け入れについて協議しました。「産地には県外からのIターン就農者も多く、相談しやすい環境にある」など指導農業士から助言がありました。面接の結果、新たな研修生として受入が承諾されました。

今後は、マッチング研修～農家研修に入る計画であるため、引き続き普及所は関係機関と連携しながら研修開始に向け支援を行っていきます。

イタドリの出荷が始まりました ～生育状況の調査実施～



イタドリの現地ほ場調査

4月になり、高知市鏡地区では、イタドリの出荷が始まりました。普及所は、昨年度に引き続き、イタドリの生育状況の調査を行っています。今年は、暖冬でしたが、発生後の温度低下や降雨量が少なかったため、出荷ピークが例年より遅くなる模様です。

現在、茎だけでなく葉も活用しようと話されています。昨年は試験的に葉の収穫・販売も行っており、今年も引き続き検討していきます。

今後、普及所は葉の収穫による次作への影響などの調査を行い、関係機関と連携して生産量の向上と用途の拡大に向けた支援を行います。